

志木市立志木第二小学校 学力向上研究校指定事業

実践発表資料

平成30年度、令和元年度実践まとめ

本校における取組

視点 1

コバトンのびのびシートを活用

視点 2

学力を伸ばした指導法の共有

視点 3

学力向上プランの見直し

視点 4

求められる学力を高める取組

視点1 コバトンのびのびシートの活用

(1) 個人面談の資料

- ・ 児童の学習状況や各年度の伸び
- ・ 実態に応じた指導方針
- ・ 取組への理解、協力を得る

コバトンのびのびシート

教科 (3年)	年度	正答率 レベル 伸び 話す聞く書く 読む				〇〇テスト				〇〇テスト					
		H30	H30	H30	H30										
地玉集学力・学習状況調査	年度	H30													
	算数	H30													
	項目	AL													
	柔軟的方														
	学習方法														
	作業方														
	人的リソース														
	認知的方														
	努力調整方														
	非認知能力	やり抜く													
学力・AL・学習方略・非認知能力のグラフ	学習方略														
授業の実施項目	内容(特筆すべき実施項目を記入)														
	勉強がたいくつでつまらないときでも、それが終わるまでなんとかやり続けられるように努力する														
	勉強していて大切だと思ったところは、書かれなくてもノートにまとめる														
	勉強をするときは、内ようを自分の知っている言葉で理かいるようにする														
	名前を呼ばれたら「はい」とはっきり返事をすることができていますか														

11月に実施した、
保護者との個人面談の資料
として活用

3

視点1 コバトンのびのびシートの活用

(2) 補習教室〔KIND〕の実施

〔K：コバトン I：インテリジェント N：のびのび D：大作戦〕

各学級1名程度を抽出 → 個人カルテを作成

単元	指導内容	用語・記号	できる	もう少し	がんばろう
ともだち P. 2～7	観点に応じたものの集合づくり 集合の要素を1対1に対応させる (相当、大小)				
1 10 P.					
2 なんばんめ P. 20～23	順序数で位置を表す (前後、左右、上下) 順序数と集合数の対比				
3 いくつといくつ	5～10の数の合成と分解				

「コバトンのびのびシート」
を使った面談等に基づき、
児童を抽出。

- ・ 学び直し、つまずきを発見！
- ・ つまずきを乗り越える実感！
- ・ 算数の自信が他教科へも波及！

視点1 コバトンのびのびシートの活用

(2) 補習教室〔KIND〕の実施

〔K：コバトン I：インテリジェント N：のびのび D：大作戦〕

国語

対象児童の結果

算数

のびのびシート	H29	H30	H31	のびのびシート	H29	H30	H31
6年生国語：伸びた児童 83%				6年算数：伸びた児童 83%			
Aさん	6-C	6-A	7-C	Aさん	4-B	5-B	7-C
4 学年から 5 学年への 伸びと、 5 学年から 6 学年への 伸びを まとめた。		2	6			3	5
		5-C	7B			C	6B
		-5	7			D	4
		6-C	6-C			-B	7-C
		5	0			4	8
		5-A	6-A			-A	4-B
	-4	3			5	-1	
	3-C	4-B			-A	4-C	
	6	4			3	4	
Fさん	5-C	6-B	8-A	Fさん	5-B	5-B	7-B
		4	7			0	6
伸びの平均：5.4				伸びの平均：5.4			

黄色の部分は、平成31年度に伸びた児童の伸びの数値。
83%の児童が学力を伸ばした。
伸びの平均は、5.4
学年全体の平均を大きく上回った。

視点2 学力を伸ばした指導法の共有

(1) 「聞いてみよう！志木二小の先輩」

聞いてみよう！

志木**二**小の先輩

学力向上プラン 学級経営の充実に向けて！
学級経営の充実 = 学力アップ！



『学級経営』→ 学力向上プランの柱に！

テーマ：「学級開き（づくり）のポイント」

1 生徒指導、児童理解

- ・叱るときは、短くピシャッと。子どもが「はい、はい」だけ言わないように、何がいけなかったのかを自分の口で話させる。
- ・「いいね」「すごいね」短くてもたくさん声をかける。

2 教科等指導

- ・漢字練習など、誰もしゃべらない静かな環境をつくり、雰囲気味わわせる。褒める。
- ・ノート指導で
- ・考える授業、

校内の5年次経験者以上の先生方から聞き取った内容をもとに作成し、4月当初全職員に配布。

3 保護者対応

- ・誠意を持って

4 私の学級経営の

- ・やるべきことは最後までやらせる

- ・一人に役割を与えて、全員が活躍できるようにする。

視点2 学力を伸ばした指導法の共有

学級経営についても聞き取り

土台

学級経営

学習方略

主体的・対話的で
深い学び

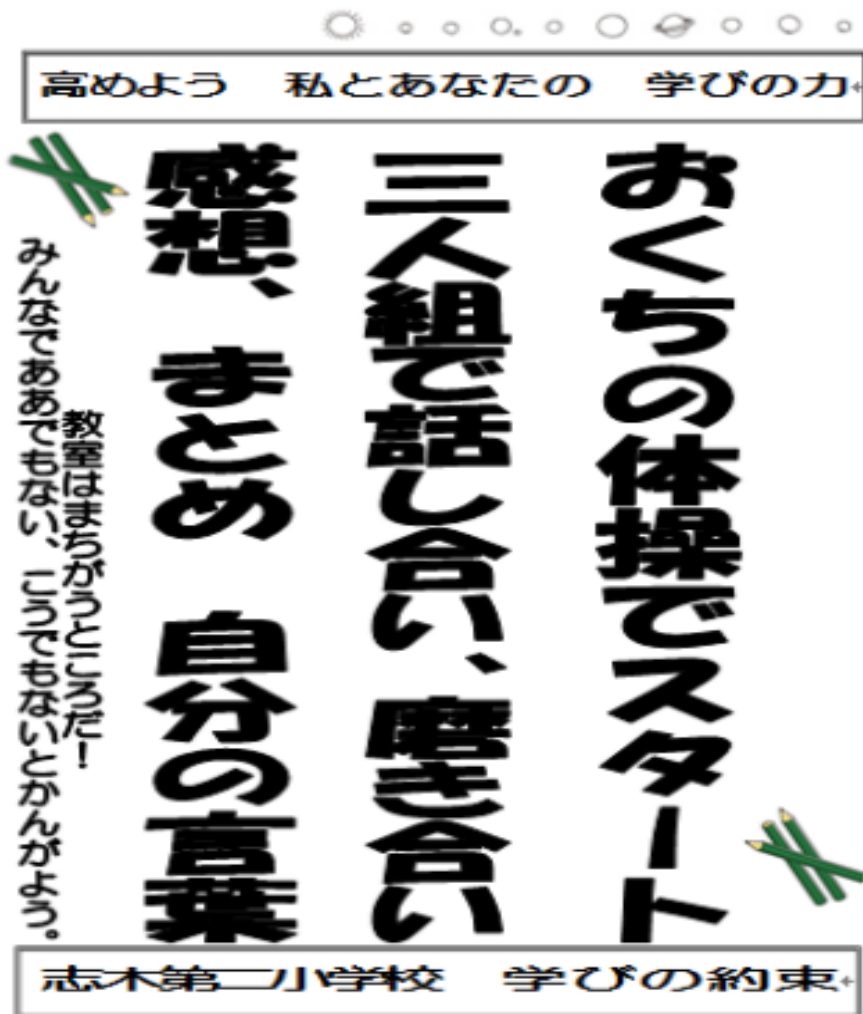
非認知能力

学力

学級経営の充実が学力に影響

視点2 学力を伸ばした指導法の共有

(2) 『授業改善』の合言葉「学びの約束」



授業改善の合言葉を「学びの約束」としてまとめ、各教室に掲示。

↓
話し合う活動を積極的に取り入れることや双方向のコミュニケーションづくりを念頭に置いた授業改善を実施。

- ・話し合いによる双方向のコミュニケーション
- ・振り返りのある授業展開

視点3 学力向上プランの見直し

4・3・2・1で記入 評価不能なものは/(斜線)でお願いします。

	1組	2組	3組	4組	
国語					
2家庭学習で、家族と「話し合う」活動を行う。	2	3	1	2	2.00
4相対性による原理図紙を用いた授業を行う。	2	4	4	3	3.25
5観した授業を行う。	3	3	4	3	3.25
6い活動を推進する。	2	4	4	3	3.25
7行う。	3	3	4	3	3.25
8確保する。	3	3	4	3	3.50
9	3	3	3	3	3.00
10					
1自力解決の時間の確保、ワークシートへの問題への工夫をする。	3	2	4	3	3.00
2学力向上プランで基礎、基本の定着を図る。	3	3	4	3	3.25
3実生活の中で活用できる問題の作成し、実施する。	3	2	2	3	2.50
4長さ、時間、かさについての量感を養う。	3	4	4	3	3.50
5立式や答えまでの過程の説明に重点をおく。	3	3	4	3	3.25
6資料や基本的な知識を基にした、発展的な問題への取組を行う。					
7めあてを明確にして、何を学んだのかを振り返る授業を行う。					

学力向上プランの手立ては約50項目

各学年での重点化

各学期で自己評価

取組内容	担当	PDCA		
		2学期	3学期	1学期
目的な活動を行う。	研推	+	+	+
	学力加配	+	+	+
	研推	+	+	+
	全員	+	+	+
	低中	+	+	+
	全員	+	+	+
	担任	+	+	+

主担当を明記して、より効率的に、より主体的に授業改善を図る

主担当

PDCAサイクルの仕組み改善

視点4 求められる学力を高める取組

(1) 類似問題の作成、実施

◇調査問題への適応力向上 ◇実生活における知識・技能の活用

各調査の誤答分析
児童や教員への負担軽減を意識

ライオンさんとペンギンさんの「謎の数字」 ☆ この問題がとけるかな? ☆

手紙のヒントにどんな数字が入るのが正解か、正解の数字をマークシートから選んで、ゆめしょう。(数字が すこし 見えてくれないの ことで いいですよ)

※手紙のヒント「わ」の「あ」=1 「い」の「き」=4

わ	あ	い
か	1	2
き	3	4

では、本番です。

	あ	い	う	え	お	
さ	1	2	3	4	5	た
し	6	7	8	9	1	ち
す	2	3	4	5	6	つ
せ	7	8	9	1	2	て
ぞ	3	4	5	6	7	と

(1) 「し」の「え」 = □
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨

(2) 「せ」の「い」 = □
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨

(3) 「と」の「お」 = □
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨

☆ 最後のねらい (ヒント) ☆
最初の数字とはちがいますね。問題を読みかえ、そして目の前の6のごとまじゅうなんにこととええるかまけたえます。まじゅうでないなら、もう一回とまじゅう「質問する！」を繰り返すことまじゅう

パズル・ゲーム感覚

朝自習や授業の予習・復習等、短い時間で継続的に活用。

マークシート方式

学習のトレーニング 2-3

ライオンさんとペンギンさんの「謎の数字」 ☆ この問題がとけるかな? ☆

次の文章の () に入らぬ数字を1つ選びましょう。
①一全の中から選び、あてはまる数字をマークシートに、ゆめしょう。(数字が すこし 見えてくれないの ことで いいですよ)

...) に行きます。..

☆ 最後のねらい (ヒント) ☆
「一に」には、いろいろなはた6さがありますね。ゆめしょう が かけますよ。

調査が『楽しみ』になる取組に!

視点4 求められる学力を高める取組

(2) 民間企業のワークシートの活用

家庭でインタビューを行う学習

ニュースの音読や家族へのインタビューを通して、身近な話題について話し合う学習活動を計画、実施。

- ・ 身近な話題について話し合う活動
- ・ 多様な考えにふれることができる
- ・ 情報をまとめる力UP！

The worksheet is titled "インタビューシート" (Interview Sheet) and includes the following instructions:

1. 「身近な話題」について、身近な人からインタビューを行う。(10・10・10)
2. その内容をノートに書く。(10・10・10) ① インタビューの相手名 (10・10・10)
3. おおきな字で、その話を家族に話して聞いて、10分以内で話をまとめる。(10・10・10)

Below the instructions is a large grid for taking notes. At the bottom of the page, there are two cartoon penguin characters.

視点4 求められる学力を高める取組

(2) 民間企業のワークシートの活用

家庭でインタビューを行う学習

低学年 → 音読

中学年 →
家族への聞き取り

高学年 →
聞き取りから
自分の考えをもつ

内容を75字以内でまとめる。

自分の意見や考えを書く。

○全国学力・学習状況調査結果の活用

学力指定事業・校内研修

平成30年度 全国学力・学習状況調査の分析Iと考察I

1 目的

全国学力・学習状況調査の問題の分析を行い、どのような知識や思考力・活用力が求められているのかを知り、一人一人の授業や家庭学習の改善・学力向上プランの立案で具現化する。

2 具体的な取組（場面）

（1）国語

知識面・思考面における課題	取組（場面）	担当
国A3オムレツ 目的に合わせて、資料を抜き取る。	・図説・取扱説明書やおもちゃの作り方などの資料から、条件に合った必要な情報を抜き取る（〇をうつなど）練習をする。 〈空いた時間・家庭学習：ワークシート〉	学力加配
国A4心に残った文 心に残った部分を読み取る。物語文での表現技法を考える。	・物語文の読み取りの際に情景描写から登場人物の気持ちを読み取らせる。（物語文章の指導）	各学年

問題を解く

求められている学力観・指導法を共通理解

○学校課題研究との一体的な取組

自ら学び、豊かな表現力をもった児童の育成
～対話的な活動を通して、自分の思いや考えを
表現できる指導法の工夫～

研究授業の実施

スピーチ活動の充実



成果と課題

(1) 成果

- 6年生国語で、レベルが3あがり、81.6%の児童が伸びた。
- 6年生算数で、レベルが4あがり、74.5%の児童が伸びた。
- 国語・算数において、学力低位層が大きく学力を伸ばし、上位層との差が小さくなってきた。
- 学校課題研究と学力向上を一体的に取り組むことで、より学力向上の取組としての授業改善を推進することができた。
- 算数における個別指導の効果が見られた。

(2) 課題

- ・ 新学習指導要領全面実施など学校全体が変化へ対応する中で、取組の精選を行うことが必要となる。
- ・ 学級経営の充実を図っていることから、非認知能力を伸ばすことができているのか効果の見届けをすることが必要となる。